

# あすなる

発行 沖電気の職場を明るくする会 (OAK) TEL 03-3455-6006  
東京都港区三田3-2-20 FAX 03-3451-3595  
メール: oak@fine.memail.jp

**OAK 沖電気の職場を明るくする会**

秋季闘争、1時金・年金・退職金に  
ご意見をお寄せください

<http://oak47.hp.infoseek.co.jp>

## 格差はなんと35歳で30万円

### 成果主義賃金の行きつく先は 格差の拡大と総人件費の削減

二〇〇三年八月二十五日づけOur's号外(制度検討委員会報告)で「職群」から「職種」を単位とした制度へが配布されました。沖電気の提案内容(要旨)で具体的考案方は「ネットワークソリューションの沖電気」の実現や、安定した収益構造を確立するための人事的アプローチとして検討を進めていきたい。とその考え方が述べられています。

中央執行委員会の見解は今回の「職務グレード制の高度化」に関する会社提案は、沖電気の再生に向けた組織文化や企業風土改革の一環として、「仕事のやり方・命じ方」を見直すとともに、それに連動する「市場水準を意識した処遇」の実現をめざすという考え方にともづくものです。労働組合としては仕事(職務価値)と処遇(水準)との連動性を強め、制度や処遇に関する公正性・納得性を高めていくためには(職種を大きくくりにした)「職群」をベースとする現行の処遇制度から(職務との密着性を高めた)「職種」に分類した制度の構築が必要であると判断し、制度の高度化をはかる観点から検討・協議していくこととしました。と述べグレード制度導入時の問題点を改善もしないで会社提案を推進していくとしています。

現在の不備を質するのが先

二〇〇一年三月に導入された「現行賃金制度」は「コンピテンシーをベースにした新人事システム」「成果に見合った処遇の実現」「処遇の公正性・透明性、納得性を実現」等々、「社員の満足度を高め、社員がより高い目標にチャレンジすることにより、企業発展を促す」ことが目的と説明されました。ところが調整給のある人が格付けが1ランク下がった後に、一生懸命頑張ってもとの格付けに昇格するとダウンの時の調整給は同額だが、アップする時は調整給とグレード賃金のアップ額が相殺され、もとの基準内賃金には戻りません。調整給があるうちは、グレードダウンとアップを繰り返すと基準内賃金はどんどん下がることになり、これで「社員の満足度が高められる」のでしょうか

さらに三五歳同期入社社員の月給を比較すると、格差は最大約三十万円まで広がっています。沖電気の三五歳社員は現在二百七十一名。最低ランクはG1で二十万三千三百四十円、グレードの最高位のG8は事業本部長クラスに相当し部長職に匹敵するG6には1名おり給与は四十七万二千元。中心はG4の142名で係長・主任クラスに当た

る。管理職層のG5以上も15名存在する。給与も以前の賃金制度では三五歳の社員は月給三十万円前後に集中していたが、現在は平均三十二万八千円。比較的人数が固まっているG2とG5の社員間の格差は2倍強と拡大。年収ベースで見ると3・4倍の格差になっている。

(資料は日経ビジネス)

#### 職務グレード制度の高度化とは

私たちは賃金制度の変更による安定した収益構造を確立するという提案は総人件費を抑制する、全体の賃金を下げることと同義語だと考えます。特にグレードの高度化の目的は、グレードアップをより一層狭き門にし現在のグレードからより簡単にグレードダウンさせ総人件費を抑制することが目的といえます。



仲間と協力  
しあう事の  
大切さ

「過重なノルマを押しつけられ、泣く泣く会社を辞めていく同僚に花束を贈ったら、自分もクビにされてしまった」夕食の献立セットを宅配する「ヨシケイ」での信じられないような話です。日常的にやられていた上司のいやがらせや大声での恫喝に8人の若い女性たちは労働組合を結成し裁判に訴えました。「会社の横暴を正したい」と 契約社員で働いていた女性たちが雇用期間途中にもかかわらず「ネスレ」から突然解雇され大阪地裁へ提訴。ある企業では賃金を含めた労働条件が下げられてもこの地域で働けるならとがまをしようとしたのに会社が移転するので退職してくれという。会社の理不尽なやり方についても、組合を結成して闘っています。TV番組で法律を扱ったものがありますが、そのひとつに「絶対に訴えてやる」と叫ぶ場面があります。実際に「訴える」ことはとても勇気がいることです。「ヨシケイ」の女性たちは、初めて組合を体験するなかで、「みんなが働きやすい職場にしたい、仕事のやりがいを取りもどしたい」と頑張っています。それがそのなかで根本的な事に気づいたと語っています。それは「仲間と協力しあう事の大切さ」。沖電気に働く私たちにとって一番大事なことです。



### 相次ぐ企業の大事故

## あなたの職場は大丈夫?

「ドーン」というすさまじい音。炎を上げて燃えるガスタンク。新日鐵。

「真つ黒い煙を巻き上げて燃え続ける工場」ブリジストン。

日本を代表する企業の大規模火災や事故が続きます。原因の究明は今後待つとして、03年9月10日付けの東京新聞は事故の背景として長期不況による人員合理化と修繕費などの固定費削減が裏目に出たと指摘する声が強まっています。

『日本の製造業は過去10年以上にわたり、バブル期に膨らんだ過剰な設備や人員の精算に奔走。ここ数年は中国に對抗するため、一段の合理化に迫られている』こうした見方に対し鉄鋼業界は「合理化やリストラが原因とは思われない。当社は退職者が持つ技術をデータベース化している」(住友金属)、「4人で行う所を3人でやれ」というような無茶は絶対ない」(日新製鋼)と一様に否定するがニッセイ基礎研究所の主任研究員は「素材産業の工場がフル稼働した一八八八年と九四年、九五年当時でも今回のような大事故は記憶にない、当時は設備の維持に企業が充分なお金と技術を費やしていた。今回は構造変化のなかで、企業が固定費削減をなすり構わず実行した結果と分析している。

沖電気も九八年からグループで六〇〇人を越える人員削減をしていますが。全国安全週間も迫っています。職場の総点検で事故を起こさないための点検をしましょう。

年月	事故名
00年6月	日進加工群馬工場爆発
8月	日本油脂の火薬工場終了爆発
12月	住友化学工業千葉工場火災
02年4月	出光興産北海道製油所火災
6月	NKK京浜製鉄所溶鋸流出
10月	三菱重工業長崎造船所豪華客船炎上
03年8月	エクソンモービル名古屋油槽所火災
9月	新日本製鐵名古屋製鉄所ガスタンク爆発
9月	ブリジストン栃木工場火災

## 女子サッカーW杯の日本代表キャプテンは元沖電気

世界陸上の女子マラソンで銀メダルに輝きオリンピック・リベック・アテネ大会

の代表に選ばれた野口みずき選手も雇用保険をもらいながら練習をしていたと報道されている。女子サッカーも例外

四年毎に行われるワールドカップ03年大会が九月二十日からアメリカで十六カ国が参加して開催されている。リストラ・不況で日本企業は、相次いでスポーツから撤退している。

でなく九五年に比べて四千人も協会登録選手が減少し現在は、二万人に減っている。沖電気も九〇年に女子サッカー部が創部され九六年からは、OKI FC Win

は、YKK東北で働きながらチームのDFとして活躍している。今回のW杯の日本チームではキャプテンに選ばれている。

ds」として日本女子リーグ(リーグ)に参加したが不況を理由に廃部・解散した。現在のリーグは、十三チームを乗り越え参加する大部さんたち日本チームのW杯での活躍を祈りたい。

### 新しい機械も

#### 沖の許可が

沖エアフォルク

沖エアフォルクではこれまで「能率向上のため」としてレイアウトの変更や溶接ロボットの導入が行われてきたが好ましい結果が得られていません。「多額の金をつぎ込んでうまくいかなければ従業員にいわせではたまつたものではない。経営陣の責任は？」との声も聞かれます。

六年間続いた「JIT経済研究所」による「現場指導会」が八月で終了した。職場の中では頭ごなしの「指導」のやり方に最初から批判があつた。腰痛の発生など健康問題も起きています。「会社が大変なときこんなムダな金を使っている余裕はないんじゃないの」という批判の声は職場の多数になつてきた。

### やっと終わった

#### 現場指導

「この六年間は小学生、これからは中学生」今後は内部での改革を進めていくということだが、「JITをうのみにせず、立ち作業を前提にした作業」や「スピードを重視するために安全をおろそかに

する」などがないような職場の作業実態にあつた改革が必要ではないのか。

### ATMの新製品に

#### 期待集まる

群馬

群馬の地元紙である「上毛新聞」に「主力ATMで中国進出」という沖電気関連の記事が大きく報道されました。

「中国国内向けATMを開発し二〇〇五年度には中国国内のシェア三割を目指す」という内容。会社のホームページでも紹介されている「ATM21S」という新機種で今



### 組合の真価が

#### 問われています

八王子

二〇〇三年OCCの「補完業務」の移管との理由でコラボテック(有)を設立しOCCから出向していた23名がOCCの業績の悪化と沖からの仕事が確保できない。外部からの受注もうまくいかない。としてコラボテックへの転籍が中止となりOCCへ戻ることになりました。OCCでは十月一日付けで「組織変更」が計画されています。内容は本体160名+コラボテック23名の183名を技術57名、生産29名、営業・その他23名の109名にするというもの。八王子地区で働く組合員は03年5月では1000名と激減しています。新社屋の7号館では空席が目立ち3階ではフロアの半分近くが空き、照明も消え「ゴースト」の状況です。経営の失敗のツケを労働者に押し付けられたOCCでは74名の削減と際限のない「合理化」あらたな怒りと不安を生んでいます。

### 最近の通勤路

東京

田町駅芝浦口が工事中で大混雑。フレックスが休止になつた沖電気も混雑の一端の責任が?。その混雑を嫌って反対側の三田口から京浜国道へ出